



Media Release

2025 年 5 月 23 日

ドイツ銀行、昨年に続き円建て社債を発行、資金調達基盤を拡大

～日本市場への継続的なコミットメントと調達通貨の多様化～

ドイツ銀行は本日、ユーロ円建て債を総額 700 億円で条件決定しました。本公募債は複数年限による起債で、ドイツ銀行が 2024 年に 9 年ぶりに円市場へ復帰して以来の 2 年連続での発行となり、引き続き投資家からの継続的な関心と市場の信頼が反映されています。

ドイツ銀行はユーロおよび米ドル建てに代わる、調達戦略上の選択肢となりうる通貨での発行を積極的に行うことで、特定のグローバル市場における定例発行体としてのプレゼンスを維持し、競争力のある資金調達条件の確保を目指しています。複数年限による発行は、国内外の幅広い投資家層のニーズに応えることを目的としており、地域を問わず柔軟かつ、安定的に資本市場へのアクセスを提供するというドイツ銀行の「グローバル・ハウスバンク」戦略に沿ったものです。

ドイツ銀行トレジャリー部門のトーマス・リュケルトは次のように述べています。
「私たちは引き続き投資家層の拡大を目指しており、2 年連続で日本円市場に戻ってこられたことは、国内資本市場の強さを物語っています。」

ドイツ銀行の資本市場での資金調達は、同行の資本構成を強化し、顧客に対する継続的な成功と財務的安定を支えるものです。今回の発行は、2025 年資金調達計画における重要な一歩であり、これにより、年初来の調達総額は 80 億ユーロに達しました（2025 年の資金調達の年間目標は 150～200 億ユーロ）。

ドイツ銀行グループ、チーフ・カンントリー・オフィサーである本間民夫は次のようにコメントしています。「今回の起債は、日本市場に対する当行の長期的なコミットメント、そして幅広い投資家のニーズに対応する柔軟なソリューションを提供することができる能力を改めて示すものです。今後も資金調達基盤の多様化と、主要なグローバル市場における強力な存在感の維持に注力してまいります。」

報道機関からの問い合わせ:

ドイツ銀行グループ広報部
電話 : 03-6730-0709
Email: tokyo.communications@db.com

ドイツ銀行について

ドイツ銀行は、個人顧客、中小企業、事業法人、各国政府および機関投資家に対し、リテール・バンキング、プライベート・バンキング、コーポレート・バンキング、トランザクション・バンキング、融資、資産運用の商品および

びサービスならびに焦点を絞った投資銀行業務を提供しています。ドイツ銀行は、欧州に深く根ざしつつグローバル・ネットワークを有するドイツ有数の銀行です。

将来の事象に関する記述

本リリースには、将来の事象に関する記述が含まれています。将来の事象に関する記述とは、歴史的事実ではない記述であり、当行の考えおよび予想ならびにその基礎となる前提が含まれます。これらの記述は、ドイツ銀行の経営陣が現在入手可能な予定、推定および計画に基づいています。したがって、将来の事象に関する記述は、あくまで当該記述がなされた日現在のものであって、当行はこれらの記述に関して、新しい情報または将来生じた事象があっても、これを更新して公表する責任は負いません。

将来の事象に関する記述は、その性質上リスクおよび不確実性を含みます。したがって、いくつかの重要な要因が作用して、実際には将来の事象に関する記述に含まれるものとは大きく異なる結果となる可能性があります。

これらの要因には、ドイツ、ヨーロッパ、米国およびドイツ銀行が収益の相当部分を上げ、資産の相当部分を有するその他の地域における金融市場の動向、資産価値の推移および市場のボラティリティ、借り手または取引相手による将来の債務不履行、当行の経営戦略の実施、当行のリスク・マネジメントの方針、手続および方法への信頼性ならびに米国証券取引委員会（SEC）への情報開示に関連するリスク等が含まれます。このような要因については、SECに提出した当行の2025年3月13日付 Form 20-Fの「リスク・ファクター」の表題のもとで詳しく記載されています。当該文書の写しは、請求により入手可能であり、また www.db.com/ir からダウンロードすることができます。